

## 事務事業評価調書

事務事業名	消防総務事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	消防組織法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	消防施設及び職員、その他											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適切な消防施設及び職員の管理 消防業務に必要で適切な消防体制を維持することができる。												
(7) 事業概要	各種会議への派遣旅費や備品、消防被服等の購入、消防業務における施設及び職員を適切に管理し、消防体制に必要な施策を検討する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		153,220	156,199	160,756	153,080	184,059							
	人件費	職員数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00						
		総額(B)	千円	41,500	39,735	41,760	41,760	40,850						
	総事業費(A+B)		194,720	195,934	202,516	194,840	224,909							
	特定財源(C)		11,900	12,510	3,600	9,787	10,884							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	3,123	12,049	3,403	3,361	4,627							
		その他	8,777	461	197	6,426	6,257							
	市負担(D)		182,820	183,424	198,916	185,053	214,025							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		182,820	183,424	198,916	185,053	214,025								
財源計(C+D)		194,720	195,934	202,516	194,840	224,909								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	京伸										
			②	鳳産業										
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③	ジョンソンコントロールズ他										
			①	大阪航空消防分担金										
<input type="checkbox"/> その他	内容	②	大阪府消防賞じゆつ金分担金											
		③	全国消防長会分担金											

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	各種会議への派遣旅費や備品・消防被服等の購入等、消防業務における施設および職員の管理、消防体制に必要な施策の検討。			目標	消防施設及び職員の適切な管理。
	②	成果内容	消防業務に必要で適切な消防体制を維持している。			達成状況	適切で確実な消防業務遂行に十分な効果が得られている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		消防施設・人員を適切に管理する観点から、妥当性・有効性をはじめ各視点ともおおむね適切と考えられ、かかる費用に対して、消防業務継続に必要な消防体制の構築ができています。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防総務事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00791				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	00791
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は安全なまちづくりにおいて必要不可欠な事業であるが、内部管理の事業のため指標では表しにくいところがある。しかし、常にコスト削減を意識して事業をすすめている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	消防職員教育・訓練充実事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	消防組織法、道路交通法、労働安全衛生法等資格関連法令、消防力の整備指針第28条(消防職員の職務能力)													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	消防職員												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	効果的な人材育成と職員の資質向上による災害対応能力の強化 職員の公的資格(免許等)の取得												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	消防職員の資質等の向上による災害対応能力の強化													
(7)	事業概要	消防に関連した専門的な知識や技術を修得するため、運転免許、各種資格ならびに府立消防学校や大阪市消防局高度専門教育訓練センター等の専科教育・幹部教育に積極的に消防職・団員(職員等)を派遣し職員等各個人の資質の向上を図り消防体制を強化していく。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		9,937	9,771	11,992	11,795	8,949							
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)		26,537	25,665	28,696	28,499	25,289							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		26,537	25,665	28,696	28,499	25,289							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			26,537	25,665	28,696	28,499	25,289								
財源計(C+D)		26,537	25,665	28,696	28,499	25,289									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	大阪府立消防学校入校負担金										
②	消防大学校入校負担金														
③	大阪市高度専門教育訓練センター入校負担金														
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	職員を対象に計画的に教養及び資格取得等に必要な各種教育、講習等を受講させ、効率的な人材育成に努める。			目標	職員の資質向上。
	②	成果内容	市民ニーズに対応した消防体制。			達成状況	消防業務遂行に十分な効果が得られている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		消防職員の必修となる資格の取得及び人材育成を主眼とした本事業は、有効な公的資格等を取得するうえで、費用対効果という視点から妥当であるものとする。資格等を取得することにより、個人のスキルアップ及び意識改革、そして消防全体の能力向上につながっている。また、職員が退職することによる資格保有者の減員を防ぐためにも継続的に本事業を推進していく必要がある。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防職員教育・訓練事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00792				

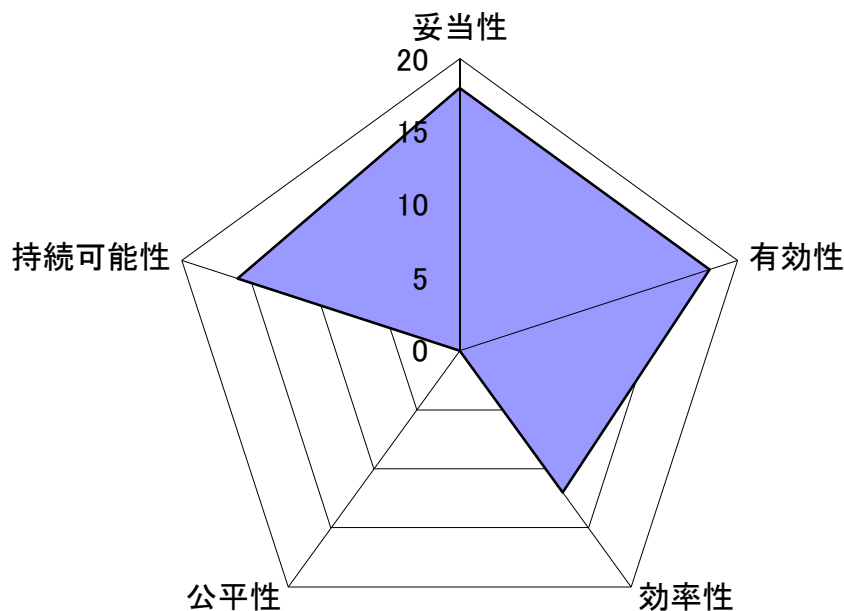
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	00792
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業の指標としては資格の総取得数にしか表せていないが、必要な資格を継続的に取得していくことが消防業務には必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	消防庁舎等改修事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容	吹田市消防本部衛生管理規程における語句整備(理事を消防管理監へと修正したもの)											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市消防本部衛生管理規程(昭和62年 消防本部訓令第2号)													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	消防庁舎												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	庁舎の改修、設備の補修及び修繕の実施												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	消防庁舎の適切な維持管理及び職員の勤務環境改善													
(7)	事業概要	庁舎建設と同時に設置された機械・電気設備の経年劣化に対する補修及び更新を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	3
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,076	4,150	10,434	20,058	11,100							
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)		19,676	20,044	27,138	36,762	27,440							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		19,676	20,044	27,138	36,762	27,440							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			19,676	20,044	27,138	36,762	27,440								
財源計(C+D)		19,676	20,044	27,138	36,762	27,440									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	活動内容	消防庁舎の維持補修管理。			目標
	②	成果内容	適切な消防庁舎の管理に寄与している。			達成状況	適切な消防庁舎の維持管理に一定の効果が得られている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		建物の経年劣化による改修費用や大規模災害時に備えた庁舎の耐久性の確保など、これからも維持管理に必要となるコストが減少することはない。本市における消防防災拠点施設のうち災害対応において、最も重要である消防庁舎の適正な管理及び整備は今後とも必要不可欠である。				

# 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防庁舎等改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00793				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	00793
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

長期の視点になるが、庁舎・設備の老朽化により、様々な修繕が必要になり、費用の増大が見込まれる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	12	効率性	8	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	8														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>本事業の現状は実質的に経年劣化した、必要最低限の補修のためこの評価としている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	防火意識普及啓発事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和50年度	改正 内容	起震車廃車											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	総務省消防庁通知 全国火災予防運動実施要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	防火思想の普及と火災予防の推進を図る。 市民一人ひとりの防火意識の向上により、災害に強い安全なまちづくりを目指す。												
(7) 事業概要	消防フェスティバルの開催や消防音楽隊の演奏活動、また春、秋の火災予防運動を通して防火PRを行い、防火意識の普及と火災予防の推進を図る。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,294	1,988	2,341	1,905	2,117							
	人件費	職員数	人	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00						
		総額(B)	千円	124,500	119,205	125,280	125,280	122,550						
	総事業費(A+B)		126,794	121,193	127,621	127,185	124,667							
	特定財源(C)		2,790	1,150	1,518	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	1,273	0	1,518	0	0							
		その他	1,517	1,150	0	0	0							
	市負担(D)		124,004	120,043	126,103	127,185	124,667							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		124,004	120,043	126,103	127,185	124,667								
財源計(C+D)		126,794	121,193	127,621	127,185	124,667								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	シルバー人材センター										
			②											
			③											
	主な委託内容		ポスター等封入作業											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 消防フェスティバル、火災予防運動、消防音楽隊演奏の参加人員	目標値	(単位:人)	32,300.00	34,400.00	32,700.00	
			実績値	(単位:人)	36,150.00	35,010.00		
			達成度(%)		111.9	101.8		
	目標値の積算方法	消防フェスティバル、火災予防運動、消防音楽隊演奏の参加人員の合計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.34	3.63	
				一般財源(単位:千円)		3.34	3.63	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 消防フェスティバル開催数、火災予防運動、消防音楽隊演奏回数	目標値	(単位:回)	18.00	18.00	18.00
	実績値			(単位:回)	28.00	25.00		
	達成度(%)			155.6	138.9			
	目標値の積算方法	消防フェスティバル開催数(4署×1回)、火災予防運動(春・秋年2回)、消防音楽隊演奏回数(年間12回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,310.82	5,087.40	
				一般財源(単位:千円)		4,310.82	5,087.40	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		フェスティバルや音楽隊の演奏活動を通じて多数の市民と融和強調に努め、防火思想の普及と火災予防の推進を図るためには、継続が必要な事業であり、得られる効果は大きく、市民一人ひとりの防火意識の向上と災害に強いまちづくりを目指して積極的に実施していくものである。					

## 事務事業分析シート

所属名	消防本部 総務予防室	事業名	防火意識普及啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00794				

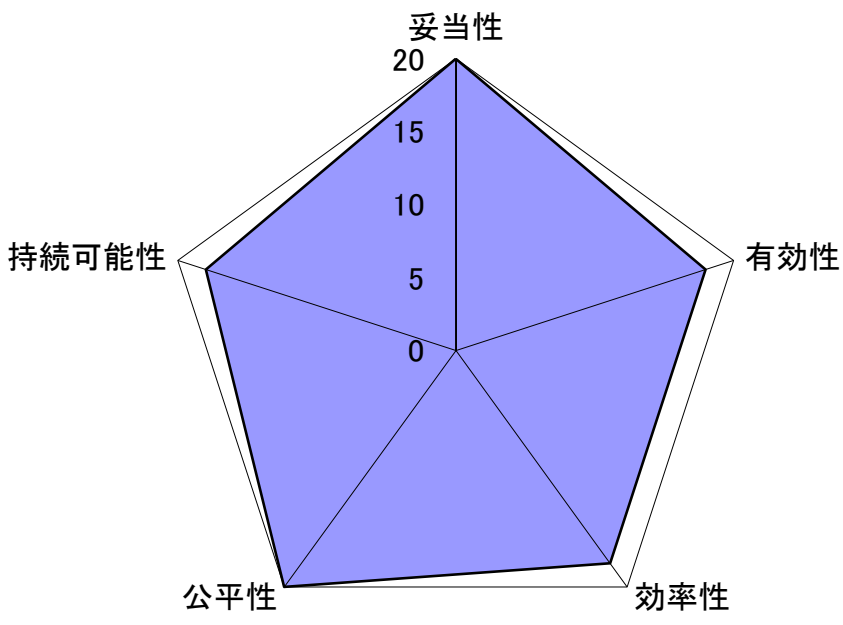
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	消防本部 総務予防室	事務事業番号	00794
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>春・秋の火災が発生しやすい時季に火災予防思想の一層の普及を図り、火災予防運動が全国的に展開されるようになり、本市においても積極的な活動を行うこととなった。また、地域の行事(催物)に参加して消防フェスティバルを開催したり、消防音楽隊の演奏活動を通して市民に対する防火意識の普及と火災予防の推進を図ることは、安心・安全のまちづくりに多大な事業効果を与えるものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	予防査察・自主防火管理充実事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	法令改正に伴う防火管理者資格取得講習会の時間割見直し											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	消防法・消防組織法(消防力の整備指針)													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	職員・市民												
		目標(どういう状態にしたいのか)	・予防業務を担当する消防職員の職務能力を高める。 ・防火管理に携わる市民の自主防火管理能力を高める。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	より高度で専門的な知識及び能力を得ることで、高度化・多様化する予防業務や自主防火管理業務を円滑に遂行することができる。													
(7)	事業概要	予防業務を担当する職員は、予防技術検定を受検することで予防技術資格者として予防業務の高度化・専門化に的確に対応すること。また、防火管理に携わる市民には、防火管理者の資格取得を促し、自主防火の体制を推し進め、安心・安全のまちづくりを目指す。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		212	109	189	130	182							
		人件費	職員数	人	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00						
			総額(B)	千円	74,700	71,523	75,168	75,168	73,530						
		総事業費(A+B)		74,912	71,632	75,357	75,298	73,712							
		特定財源(C)		0	1,305	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	1,277	0	0	0							
			その他	0	28	0	0	0							
		市負担(D)		74,912	70,327	75,357	75,298	73,712							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	74,912		70,327	75,357	75,298	73,712									
財源計(C+D)		74,912	71,632	75,357	75,298	73,712									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 予防技術検定受検者数	目標値	(単位:人)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:人)	3.00	3.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	予防技術検定受検者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	23,877.33	25,099.33	
				一般財源(単位:千円)	23,877.33	25,099.33	
	②	指標内容 防火管理者資格取得講習会実施回数	目標値	(単位:回)	5.00	5.00	
実績値			(単位:回)	5.00	5.00		
達成度(%)			100.0	100.0			
目標値の積算方法	防火管理者資格取得講習会実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14,326.40	15,059.60		
			一般財源(単位:千円)	14,326.40	15,059.60		
(2) 成果指標	①	指標内容 予防技術検定合格者数	目標値	(単位:人)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:人)	3.00	3.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	予防技術検定合格者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	23,877.33	25,099.33	
				一般財源(単位:千円)	23,877.33	25,099.33	
	②	指標内容 防火管理者資格取得講習会受講者数	目標値	(単位:人)	300.00	300.00	
実績値			(単位:人)	283.00	299.00		
達成度(%)			94.3	99.7			
目標値の積算方法	防火管理者資格取得講習会受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	253.12	251.83		
			一般財源(単位:千円)	253.12	251.83		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>予防技術資格者として高度で専門的な知識及び能力を得ること、また、防火管理に携わる市民に対して防火管理者の資格を取得してもらうことは消防法、消防組織法に定められており、当然今後も継続していくべき事業である。消防職員が高度で専門的な知識及び能力を得ること、市民の自主防火に関する体制を推し進めることで安心・安全のまちづくりの一翼を担う事業として得られる効果は大きい。</p>				

# 事務事業分析シート

所属名	消防本部 総務予防室	事業名	予防査察・自主防火管理充実事業	事業区分	その他
事務事業番号	00795				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	消防本部 総務予防室	事務事業番号	00795
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>消防機関で実施すべき予防業務は、高度化・多様化しており、特に消防用設備等や危険物保安に係る性能規定の導入、防火対象物に係る違反処理、防火対象物定期点検報告制度の推進などを踏まえると、これらを円滑に処理・遂行するためには、より高度で専門的な知識及び能力が消防職員に求められる。このような状況を踏まえ、予防業務を担当する消防職員の職務能力をさらに高め、予防業務の高度化・専門化に的確に対応するための方策が国によって検討され、火災の予防に関する高度な知識及び技術を有するものとして消防庁が定める資格を有する予防技術資格者を1人以上配置することとなった。これにより、予防技術検定に合格したものが予防技術資格者となるため、順次有資格者の充実拡大を図る必要がある。また、消防法第8条には防火管理制度が定められているとおり、市民(防火管理者)の自主防火管理体制を引き続き強力に推進する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	自主防火組織育成強化事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和56年度	改正 内容	家庭防火クラブ連絡協議会事務局組織名変更											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	少年消防クラブ及び婦人防火クラブ育成強化について(消防庁通達)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	自治会、幼稚園(家庭防火クラブ30団体、幼年消防クラブ34園)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	家庭防火クラブ(自治会)単位での隣保協力体制の充実と幼年期から火に対する正しい知識を身につけることで防火意識の啓発を図る。 一般居住建物からの火災防止や火遊びによる火災防止等、防火防災意識の普及を図り、災害に強いまちづくりを推進する。												
(7) 事業概要	火災予防の知識と消火器等の取扱い、また研修会を通して隣保協力体制と連帯意識の高揚を図ることにより安心・安全のまちづくり目指すこと及び幼年期から火に対する正しい知識を身につけて、火遊びによる事故の防止と防火意識の教育・普及の徹底を図ることによって火災のない明るいまちづくりを目指す。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	3
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,056	387	1,385	814	1,135							
	人件費	職員数	人	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00						
		総額(B)	千円	74,700	71,523	75,168	75,168	73,530						
	総事業費(A+B)		75,756	71,910	76,553	75,982	74,665							
	特定財源(C)		0	383	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	383	0	0	0							
	市負担(D)		75,756	71,527	76,553	75,982	74,665							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		75,756	71,527	76,553	75,982	74,665								
財源計(C+D)		75,756	71,910	76,553	75,982	74,665								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 家庭防火クラブ、幼年消防クラブの年間活動回数	目標値	(単位:回)	273.00	274.00	274.00
			実績値	(単位:回)	219.00	219.00	
			達成度(%)		80.2	79.9	
	目標値の積算方法 年間行事回数×家庭防火クラブ数と年間行事回数×幼年消防クラブ数の合計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		328.36	346.95	
			一般財源(単位:千円)		328.36	346.95	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 家庭防火クラブ、幼年消防クラブの年間行事参加クラブ数	目標値	(単位:団体)	63.00	64.00	64.00
			実績値	(単位:団体)	30.00	30.00	
			達成度(%)		47.6	46.9	
	目標値の積算方法 家庭防火クラブ数と幼年消防クラブ数の合計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,397.00	2,532.73	
			一般財源(単位:千円)		2,397.00	2,532.73	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		家庭防火クラブの設立・指導により地域の隣保協力体制と連帯意識の高揚を図ることは、「火災のない明るいまちづくり」を築いていくために今後も継続すべき事業であり、総務省消防庁においても「住宅防火対策の充実強化」の方向性が打ち出されている。これらの動きを一般家庭に普及・啓発させていくことで得られる効果は大きい。また、幼年消防クラブの設立により幼年期から火に対する正しい知識を身につけておくことは重要なことであり、防火意識の教育・啓発の徹底を図ることで得られる効果は大きい。				

事務事業分析シート

所属名	消防本部 総務予防室	事業名	自主防火組織育成強化事業	事業区分	その他
事務事業番号	00796				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	消防本部 総務予防室	事務事業番号	00796
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>家庭防火クラブは、昭和56年12月に山田地区の5つの自治会と御旅町自治会で火災予防の知識と消火器等の取扱い技術の習得や研修会を通じて一般家庭からの火災を防止し、併せて地域の隣保協力体制と連帯意識の高揚を図ることを目的として結成し、以後、平成28年4月までに30の家庭防火クラブが結成され、火災予防運動週間中の広報活動、出初式、吹田まつりや防火講演会へ参加のほか、救命講習などにも参加するなど、積極的な活動を行っている。また、幼年消防クラブについては、平成10年11月に私立幼稚園4園が火に対する正しい知識を幼児期から身につけて、火遊びによる火災の減少と防火思想の普及啓発を図る目的で結成された。以後、平成28年4月までに吹田市立幼稚園16園と私立幼稚園17園及び私立保育園1園の合計34園が幼年消防クラブを結成し防火映画会、消防署の見学、出初式への参加のほか、園内での運動会などのイベント時には法被を着用しての火災予防活動を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	消防団運営事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年	改正内容	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(平成25年法律第110号)が制定された。											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	消防組織法、吹田市消防団条例、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市消防団(1本部9分団)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	健全な消防団運営 地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化												
(7) 事業概要	消防団の運営を支援する経費である。消防団は消火活動のみならず、地震や風水害等、特に大規模災害時における避難誘導や災害防ぎよ活動等に非常に重要な役割を果たしており、平常時においても住民への防火指導、巡回広報、特別警戒ほか、地域に密着した活動を展開している。消防団のこのような活動は、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしており、この事業を消防団の健全な運営を図るためのものと位置付けている。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		61,512	49,572	60,681	45,276	59,778							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		69,812	57,519	69,033	53,628	67,948							
	特定財源(C)		12,178	4,703	10,450	3,222	10,432							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	250	0	0	0							
		その他	12,178	4,453	10,450	3,222	10,432							
	市負担(D)		57,634	52,816	58,583	50,406	57,516							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		57,634	52,816	58,583	50,406	57,516								
財源計(C+D)		69,812	57,519	69,033	53,628	67,948								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市消防団											
		②	消防団員等公務災害補償等共済基金											
		③	大阪府消防賞じゆつ金共済会											
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 消防団への入団促進 (実績値として現団員数とする)	目標値	(単位:人)	250.00	250.00	250.00	
			実績値	(単位:人)	194.00	186.00		
			達成度(%)		77.6	74.4		
	目標値の積算方法	消防団条令第定数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		348.70	288.32	
				一般財源(単位:千円)		341.03	271.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 火災・訓練及び警戒出動の実績	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:回)	698.00	550.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	火災・訓練及び警戒出動数の合計 (目標値は設定しないものとする)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		96.92	97.51	
				一般財源(単位:千円)		94.78	91.65	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>消防団は地域防災の中核として重要な役割を果たしており、その公共性は極めて高く安心安全まちづくりにおいて必要不可欠な団体である。消防本部は消防団を市民による地域防災の担い手として位置付け、本事業を消防力の充実強化のため、本市が「公助として取り組み推進すべき事業」としている。</p> <p>また、交付している消防団運営補助金は、毎年交付額全てが執行されている状況で消防団運営にかかる必要最低限の範囲であると考えられており、補助金を継続することで、今後も消防団の活動が促進され、大きな成果を得られると期待されることから費用対効果も最適であると認識している。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防団運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00810				

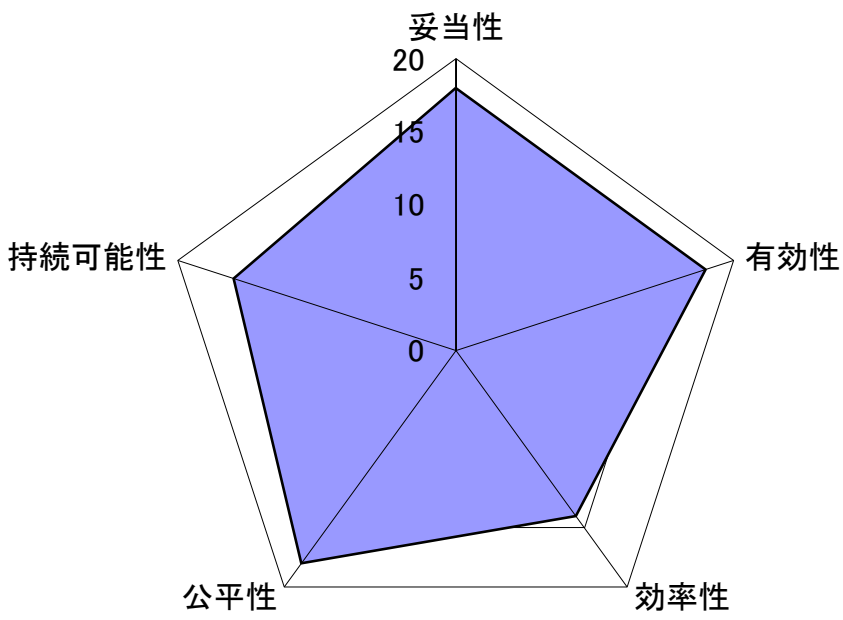
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	00810
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>消防団は郷土愛護の精神から地元住民を中心に組織され、団員は非常勤の特別職地方公務員であるが、ボランティアとしての性格も多分にあり、災害現場活動のほか、様々な活動を通じて地域に貢献している。しかしながら、近年は少子高齢化に伴う若年層の減少、就業構造の変化、地域奉仕精神の希薄化などにより、消防団員の減少に歯止めがかからず社会問題となっている。今後はこれまで以上に消防団員の処遇等を改善するとともに、装備の充実等を図り、消防団への加入を促進して、消防団組織の充実強化を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	教育訓練施設の整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市消防本部体育実施要領、吹田市消防本部トレーニング実施要領							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	消防庁舎・訓練用機材等					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	訓練施設・機器の整備・充実						
(7) 事業概要	消防職員にとって訓練及び体力錬成は災害現場対応能力の維持・向上のためにも必要な要素である。しかし、庁舎の状況により種々の訓練等が実施できない署所が多く、計画的に整備していく必要があるため、既存庁舎の教育訓練施設の整備行っていくもの。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 訓練施設の整備状況	目標値	(単位:台)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:台)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 年度ごとのランニングマシン導入状況	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 訓練施設の整備状況	目標値	(単位:器)	2.00	2.00	/
			実績値	(単位:器)	1.00	0.00	
			達成度(%)		50.0	0.0	
	目標値の積算方法 ランニングマシンの導入状況	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	年次計画的に導入していこうと考えているが、折からの財政状況から後回しになっている状況である。			目標	可能な限り導入する。
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		効果的な訓練環境を整備するため、トレーニング機器等は市内体育館で不要となったものを譲り受ける等のコスト削減を実施している。ただし、ランニング等は本市の消防庁舎の立地条件や常に出動態勢を確保することの重要性から、室内型マシンによるものが適切と考えている。また、訓練施設等の整備は今後の庁舎改修、建替え時において、トレーニング室の常設が必要である。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	教育訓練施設の整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01324				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	01324
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>台数を指標としているが、実際の効果はトレーニングを行った結果であるため、指標として適切ではない面がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	消防力の整備及び消防組織機構の検討事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	消防車両・人員の算定基準の改正					
(2)	直近の改正	平成26年度							
(3)	根拠法令等	消防力の整備指針(平成12年消防庁告示第1号)							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	消防組織機構						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	効率的な署所、車両、人員の配置						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	消防力の充実強化						
(7)	事業概要	署所体制、人員配置の見直しと検討を行い効率的な組織構築・運営を図る。消防力の整備指針を基に必要な消防力を算定のうえで整備目標を定め、本市の実情に適した施設・設備・人員をはじめとした組織機構を随時見直し、可能なものは適宜実施していく。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	消防力の整備指針に基づき効率的な車両・人員の配置を各署所に行う。			目標	消防力の充実と強化を目指す。
	②	成果内容	実情に適した施設・設備・人員をはじめとした組織機構の見直しに寄与している。			達成状況	消防力の充実・強化には継続的に検討を行う必要がある。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		コストは発生していないため単位あたりのコストは算定できないが、この事業は継続して行うことで総合的な効果を生むものである。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防力の整備及び消防組織機構の検討事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01325				

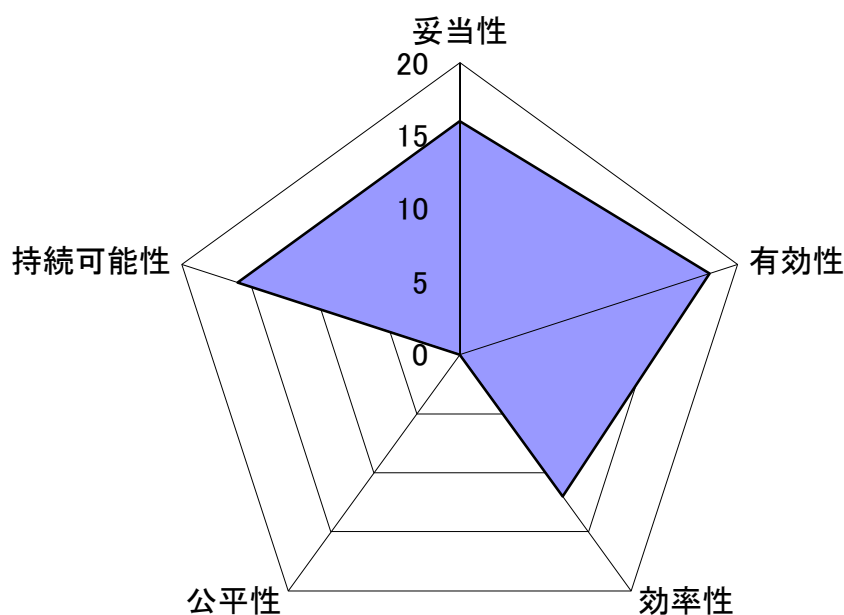
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点				
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点		
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	01325
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>コストは発生していないため単位あたりのコストは算出できないが、この事業は継続して行うことで総合的な効果を生むものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	職員健康管理・感染予防対策事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成21年度	改正 内容	吹田市消防本部衛生管理規程における語句整備(理事を消防管理監へと修正したもの)					
(2)	直近の改正	平成25年度							
(3)	根拠法令等	消防本部衛生管理規程(昭和62年 消防本部訓令2号)、新型インフルエンザ対策行動計画・ガイドライン							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	消防職員						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	感染予防対策及び職員健康管理の徹底。救急需要が増加する流行期における救急搬送体制並びに消火、救助体制の弱体化防止。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	流行期における通常体制の維持による、市民生活の安心安全の確保。							
(7)	事業概要	消防職員の感染予防対策の一環として、インフルエンザの予防接種を実施し、流行期においても職員の健康管理を徹底し、消防体制の維持及び弱体化防止を図る必要がある。また、新型インフルエンザの発生時には著しい救急需要の増加が見込まれるため、消防職員の感染防止対策を施すことにより、需要増大時にも救急搬送体制をはじめ通常通りの消防・救助体制を継続させる。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	消防職員へのインフルエンザ等感染防止対策に啓発を実施。			目標	消防職員の感染予防対策の充実を図る。
	②	成果内容	1年を通じて通常の救急搬送、消火、救助体制の維持。			達成状況	市民生活の安心安全確保に一定の効果を得られている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>妥当性、有効性の視点は感染予防対策の備品購入等、消防業務継続に必要な事業の重要性を重視し評価している。基本的に職員の健康管理を徹底し、救急需要が増加するインフルエンザ流行期における救急搬送体制、消火・救助体制を維持していく必要がある、また、救急隊員に対するインフルエンザ予防接種が公費で実施できていない件が課題として残る。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	職員健康管理・感染予防対策事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01326				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点	
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点	
(5) 持続可能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	01326
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

救急隊員をはじめとした消防職員へのインフルエンザワクチンの公費接種ができていないため、点数での評価がしにくい面がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>本事業は年間を通じて通常どおりの救急・消火・救助業務を行えていることが事業の効果と考えるため、指標として表しにくい。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

接種については市民病院にお願いして無料にて、ワクチン代は被接種者の負担となっている。



## 事務事業評価調書

事務事業名	南消防署庁舎改修事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	消防力の整備指針第25条「消防本部及び署所の耐震化等」、耐震改修促進法(平成7年12月施行)							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	南消防署庁舎						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	経年劣化に対する大幅な修繕を行う。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	消防署庁舎の安全性能及び耐震性の強化、ひいては消防力の充実強化。							
(7)	事業概要	消防本部移転後に南消防庁舎の3・4階部分の耐震改修工事、5階部分のアスベスト除去工事、外壁塗装、仮眠室の改修を実施したが、防災拠点としての体制を整えるため、屋上防水工事及び非常用発電機の改修(更新)を行う必要がある。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	0		0	0	0	0			
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 南消防署を重要防災拠点とするため必要な改修項目	目標値	(単位:項目)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:項目)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 必要な改修項目のうち当該年度に行うもの。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 南消防署を重要防災拠点とするため必要な改修項目	目標値	(単位:項目)	9.00	2.00	/
			実績値	(単位:項目)	7.00	0.00	
			達成度(%)		77.8	0.0	
	目標値の積算方法 耐震改修、仮眠室改修、救急消毒室設置、石綿除去、ベランダ補修、手摺工事、非常用発電機改修、屋上防水、外壁補修の各項目	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標			
	②	成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		現在まで、耐震改修、仮眠室改修、救急消毒室設置、アスベスト除去、ベランダ補修及び手摺応急工事を行っているが、必要とされる改修工事の全てを完了できていない。特に建物の使用に関して重要な屋上防水工事が必要であり、非常用発電機も南消防署庁舎建設当初のもので定期点検は行っているが、今後の部品供給に不安があり、早期に更新の必要がある。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	南消防署庁舎改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01327				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	01327
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>Radar Chart Data</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	18	有効性	12	効率性	10	公平性	10	持続可能性	15
視点	評価結果														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>消防庁舎の安全性は防災拠点であるため、継続的な改修・修繕を行っていかねばならない。現状は、限られた予算の中で最低限度の改修・修繕を行っている状況である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成25年度人件費単価については、システム不具合のため0円となっています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	北消防署再整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	総務予防室	室課長名	笹野 光則

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成20年度	改正 内容	消防力の整備指針救急隊整備基準見直し					
(2)	直近の改正	平成27年度							
(3)	根拠法令等	消防力の整備指針、平成18年12月13日請願第2号 南千里地域への高機能消防施設の整備について							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	1	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	消防庁舎及び市民						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	北消防署を移転建替えし、市北部の消防力を強化する。						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市域における消防力の充実強化および職員の勤務環境改善						
(7)	事業概要	北消防署庁舎は昭和41年建設のため建物及び付帯設備の老朽化が進み、職員の勤務環境も劣悪なものになっている。更に平成10年には敷地内の水路が溢水し、庁舎に浸水するなどの被害が生じている。また、平成24年度に実施した耐震診断では消防署として必要なIs値を大幅に下回っており、これらの諸問題を解消するには、庁舎の建替えが必要である。また、平成18年12月の請願第2号による市民要望を受け、これまで、消防本部として課題であった南千里地域の消防力強化についても継続して推進する必要がある。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	北消防署の建替えを実施する。			目標	北消防署を建替え、市北部の消防力を強化する。	
	②	成果内容	消防力の強化。			達成状況	継続して実施に向け要望する。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		老朽化した北消防署の建替え・移転も含めた基本構想を策定しており、消防力の強化と人員・施設等の再構築を図ることを目標として効果的に本事業を推進できるよう検討している。					

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	北消防署再整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01376				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	01376
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>Radar Chart Data</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	18	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果														
妥当性	18														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>本市における消防防災拠点としての北消防署の位置付けは重要であり、今後建替えに向けた具体的な取組を進めていく予定である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業は、北消防署(以下、北署)の改修(建替えを含む)および南千里地域の消防力強化についての総合的な検討をする事業であったが、北署の耐震性能不足が判明し、北署庁舎建替えを最優先に行わなければならなくなったため、平成26年度実施計画(平成27年度～平成31年度)より本事業を「南千里地域の消防力強化事業」に名称変更し、「北消防署再整備事業」を分離・独立させることとする。